



九国の扉

キュウトビ

vol.14

2016

学校法人九州国際大学
学園広報誌

CHANGE × CHALLENGE



特集

九国大が変わる! キミのミライを変える!

現代ビジネス学部 新設

DREAM100

第7回高校生作文コンテスト 受賞者発表

未来へ。

2017年4月、九州国際大学が新しく生まれ変わります。

新たに現代ビジネス学部を設置し、2学部3学科11コースへ。

九国大のCHANGE×CHALLENGEが、いよいよ始動します。

地域社会とつながり、その発展を担う次代の人材育成のために。

これからも絶えず進化しつづける「九国」に、どうぞご期待ください。



CHALLENGE
現代ビジネス学部新設!

北九州発、世界へ、

次代の人材育成をめざし、「九国」は進化しつづけます。

社会は今、かつてないスピードで変わり続けています。

グローバル化の波が押し寄せ、多様化、複雑化が進む地域社会では、

次々と新しい問題や高度な課題に立ち向かい、

迅速に結果を出すことができる人材が求められています。

大学は、社会で通用する力を身につける場所です。

社会のニーズが変わってきたのなら、大学も変わらなければなりません。

それが、かつてこの地に集う勤労者のための法学校として誕生し、

つねに地域の人材育成を担ってきた本学の責務であり、使命でもあるのです。



2017年4月、九州国際大学が新しく生まれ変わります。

2学部3学科11コースへ



経済学部長
(現代ビジネス学部長予定者)
男澤 智治

NEW! 現代ビジネス学部

ローカルに立ち、グローバルに動く。
高い職業意識を備えた人材を育成する

まずまずグローバル化が進む現代社会では、国はもとより地方の企業や地方自治体においてもその対応が急務となつていきます。また、それぞれの自治体では人口減少や高齢化など山積する課題を解決するために、新たな「まち・ひと・しごと」を創生する必要に迫られています。これからの社会で活躍するためには、地域にしっかりと軸足を置きながらも世界レベルで考える力が求められているのです。

現代ビジネス学部で身につく力は、単なる経済の知識や

語学力だけではなくありません。地域連携活動や海外体験などをこれまで以上に充実させ、必修化することで、多様な人と協働できる高いコミュニケーション力とグローバルな視点とを養います。ローカルな視点とグローバルな視点をあわせ持ち、さまざまな課題に柔軟に対応し、解決へと導くことができる人材を育成します。より専門性、先進性を高めて誕生する現代ビジネス学部。九国大の新たなCHALLENGE×CHALLENGEが、ここからスタートします。

さらに充実したサポート体制

一人ひとりの目標に合わせた学習支援
学生に合わせて最適な学習方法をサポート。英検やTOEIC、就職試験対策、卒論作成指導なども行っています。

理解度にマッチした学習方法と教材
個別指導から2〜10人のグループ学習を行っています。教材や問題集は学生の理解度に合わせ作成しています。

勉強への苦手意識を払拭する講座も
興味や関心のあることからスイッチを入れる講座など、学びのモチベーションを高める機会も多く提供しています。

留学生を対象にした特別講座も実施
日本語検定対策講座やビジネスマナー講座など、敬語の使い方やソーシャルスキルがわかりやすく学べると好評です。

基礎教育センター



苦手科目を克服したい人はもちろん、もっと学びを深めたい人のために、学修生活アドバイザーが常駐し、より効果的な学修生活が送れるよう支援しています。

特別育成奨学生制度「トク育」



もつと学びたいことがある。叶えたい夢もある。しかし、修学や学費などの不安から大学進学を迷っている…。そんな人たちに惜しみなくエールを送るのが、特別育成奨学生制度「トク育」です。学生一人ひとりの夢の実現のために、修学と学費の両面から徹底したサポートを行う、本学独自の画期的な奨学生制度。正課の履修にとどまらず、「トク育」生だけの多彩な体験型プログラムを通して、社会に通用する「できる大卒人材」を育てていきます。

4年間で夢は大きく! 修学サポート

修学の基礎を学ぶ インタロダクションプログラム

- 「トク育」生としての自覚を育み、目標を明確にさせます。
- スタディスキルやビジネスリテラシーを身につかせます。
- プログラムを選択するための知識を学んでもらいます。

夢に合わせて選べる「トク育」プログラム

- マネジメント育成プログラム
- 公務員養成プログラム
- 教員養成プログラム
- 留学支援プログラム
- メディア・ICT育成プログラム

保護者の負担は小さく! 経済サポート

授業料100%免除型	★併願	年間60万円	×	最大4年間	=	240万円
授業料50%免除型	★併願	年間30万円	×	最大4年間	=	120万円
授業料40%免除型	★専願	年間24万円	×	最大4年間	=	96万円

より専門性、先進性に特化して



法学部長
櫻井 弘晃

リアルな仕事の現場を提供する
全国でも例のない画期的なコース！

NEW! 法学部キャリアコース

かつては日本有数の工業地帯だったこの地で働く、勤労青年の向学心に応えるための法学部として誕生したのが九州大のルートです。どんな時代にあって、法的なもの、考え方はあらゆる問題に対応し、解決に導くための重要な鍵となります。多くの学生たちが九州大でその力を養い、社会へと巣立っていきました。

法学部法律学科では一般企業への就職を希望する学生に、より実践的なスキルを培ってもらうために、2017年度よりキャリアコースを新

設します。これは、学内に設けた教育用一般社団法人を学生自身に運営させ、総務や会計・財務、広報など企業の仕事を実体験してもらうという全国でも類のないユニークな試み。理論と実践の場を同時に提供することで、即戦力となる企業人を育成していきます。地域に貢献する大学という原点は変わることなく、新たな時代のニーズに定める人材育成をめざすCHANGE×CHALLENGE。法学部もまた、絶えず進化を続けています

学生の向学心を放っておかない！

公務員専門学校と連携した「公務員講座」、チューターによる「学習指導」、基礎学力の向上を図る「大学講座」と3つの方向からトータルにサポートするから、公務員採用試験に強い！毎年高い合格実績を上げています。

Point1

充実したチューター制度

公務員試験に精通したチューターが学習指導や個別相談に応じる専用のコーナーを設置。一人ひとりの学習の定着を確認しながらアドバイス。

Point2

DVDによる欠席フォロー

部活やゼミ、ボランティア活動などでやむを得ず欠席した受講生は、後からDVDで受講が可能です。

Point3

チャンスを広げる経済的支援

1~2年の秋学期の模擬試験で成績上位者には公務員講座の無料受講券を発行。経済的理由で受講をあきらめていた学生にもチャンスが！

Point4

単位認定制度を導入

公務員受験対策講座の単位をはじめ「キャリアプラン」「キャリアプラン実践」(公務員クラス)など、計12単位分を卒業単位として認定。

Point5

毎年合格者が続出！公務員塾

Topix

KIU English Support 英語学習支援活動

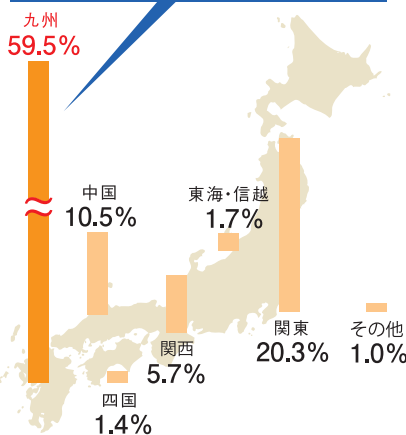


「英語が好きな人も苦手な人も、この学習活動を通じて英語を楽しく学び、英語をもっと好きになってもらいたい！」という思いのもと、太田おろゼミでは毎年夏休みに「KIU English Support 英語学習支援活動」を開催しています。附属中学校と大学の連携企画として、太田ゼミの学生らが中心となり附属中学生に英語を教える英語サポート活動は、今年で4年目を迎えました。

今年は、8/16(火)・8/17(水)の2日間、42名の参加希望中学生を迎え、英語で楽しいアクティビティや英語学習サポート活動を実施しました。太田ゼミ(13名)に加え、英語教職課程の学生(7名)も加わり、計20名の学生スタッフが活動を行いました。参加した生徒からは、「初めて英語が楽しい!と思った」、「わかりやすく丁寧に教えてもらった」、「英語がわかるようになった」、「来年もぜひ参加したい!」などの感想が寄せられており、大盛況の中、今年も活動を終えることができました。

準備や指導に熱心に励む学生たちの姿だけでなく、勉強にもアクティビティ活動にも全力で参加し、積極的に取り組む附属中学校の生徒の皆さんの活き活きとした様子も、たいへん印象的でした。来年度の活動もお楽しみに!

地元九州に強い! 就職実績



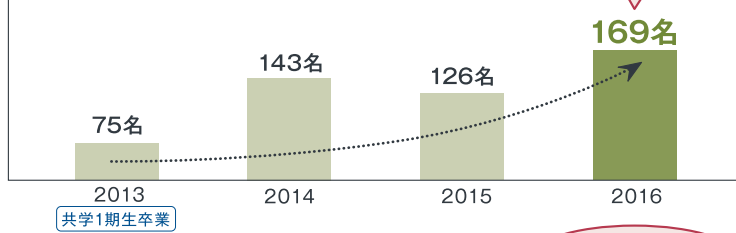
キャリア支援室ではセミナーやインターンシップを通じて、学生の目標や進路を把握。4年間の活動や性格まで踏まえて就職アドバイスを行います。また、地元九州の優良企業とのパイプが太く、その会社が多くな

実現します。霧囲気なのか、どのような人材を求めているかを熟知しています。学生一人ひとりの顔が見えているから、地元九州に強いからこそできるきめ細やかな支援体制で、企業と学生のベストマッチングを

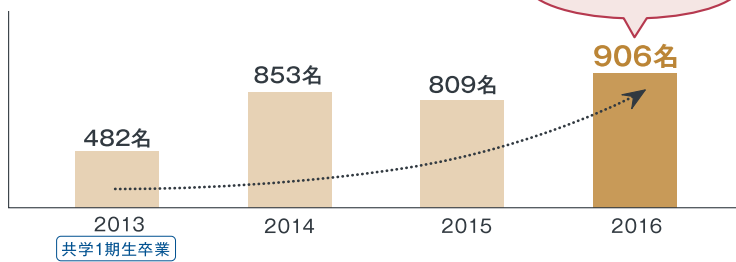
Face to faceの就職支援

男女共学7期生も好スタート！

■ 国公立大学合格者数の推移
(準大学を除く)



■ 私立大学合格者数の推移



大学合格実績が九国史上最多を更新!

付属高校では、本年度も福岡県内で7年連続N・O・1の受験者数を獲得しました。第一入学希望者も5年連続で40%を超え、北九州地域におけるこれまでの私立高校のイメージを変えつつあります。数ある高校の中から付属高校がここまで支持される理由は、一人ひとりのやる気を引き出すきめ細やかなサポートと、現役合格率90%という地域トップレベルの大学合格実績にあります。

入学後、多くの生徒たちが着実に学力をアップさせており大学合格実績は年々右肩上がりに。決して特定の生徒やクラスだけが伸びている学校でないことが付属高校の強みなのです。

自己マネジメントプログラム「夢橋」

進学校として50年以上の伝統と実績を誇る付属高校ならではの、データやノウハウの蓄積も、他校にはない大きな魅力です。夢を実現した多くの先輩には、共通のパターンがあります。それは義務や強制ではなく、「自主的」「積極的」に高校生活や勉強に取り組む姿勢です。そのためスキルを身につけるために欠かせないのが、自己マネジメントプログラム「夢橋」です。各々の目標に合わせて「未来の計画」を書き込む生活プラン



ノートで、毎週の総合的学習の時間にも組み込まれています。クラス担任の指導のもと、前週の反省点と次週の計画を視野に入れながら1週間単位でプランを作成する中で、今やるべき課題が明確に。日を追うごとに、ぐんぐん自主性が育まれていきます。



放課後・休暇中の学習フォロワー

生徒一人ひとりの学習計画を踏まえて、昼休みや放課後、夏休みや冬休みなどの学習もしっかりバックアップ!

多様化する大学入試のために

■ 小論文対策
入試に小論文を課する大学が増えています。そこで、1、2年次から外部から専門講師を招いて対策講習会を実施。3年次には担任や指導担当者が個別指導で徹底的に鍛えます。

■ 資格取得指導
実用英語技能検定、日本漢字能力検定などの各種検定は、学習習慣の定着や基礎学力を充実させるだけでなく、大学の推薦入学などにおけるアドバンテージにもなっています。

大学進学説明会

難関大学、有名大学の担当者を招いて、校内で進学説明会を実施。保護者の方々にも好評のオリジナル企画です。また、1年次に関東・関西の難関大学視察を行い、早い時期から生徒のモチベーションアップを図っています。

早くも2020年の大学入試改革に対応!



2020年から導入される「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」。これまでの知識重視の大学入試センター試験と異なり、知識を活用する総合的な力が評価されるようになります。とくに英語においては従来の「読む」「聞く」だけでなく、「書く」「話す」能力も不可欠に。付属高校では、英語学習に実践的なコミュニケーション力を育むアクティブラーニングを取り入れるなど、早くも新テスト対策に取り組んでいます。

CHANGE X CHALLENGE

7年連続県内NO.1 受験者数



今年も21名の生徒が参加しました！
オーストラリア研修



毎年春休みに実施しているオーストラリア研修。今年は21名の生徒が参加し、ホームステイしながら、友好校であるランコーン州立高校で、授業を受けました。また、クイーンズランド州立大学見学や先住民アボリジニーの文化体験、日本の文化紹介なども行いました。

最初は簡単なフレーズも聞き取れず、ホームシックになった生徒もいたようですが、2週間後にはすっかりスムーズに会話ができるようになり、ファミリーや学校のバディとは涙のお別れとなりました。この研修を通して、オーストラリアに魅了され、クイーンズランド州立大学への進学を決めた生徒もいます。

Topic

保護者のご要望にお応えして、「夜バス」の運行スタート！



付属高校ではJR枝光駅から朝のスクールバスを運行しています。しかし勉強や部活動で下校が遅くなることもあり、安全面から帰りのバスも運行して欲しいという要望が保護者の方々から寄せられていました。そこで、何よりも生徒のみなさんの安全には代えられないと判断し、夜もスクールバス3便を運行することとなりました。昨年は通学路への防犯カメラ5台の設置も済ませています。このように、生徒のみなさんに安心して勉強や部活動に打ち込んでもらえるような環境を整えることも、我々私学の使命だと考えています。

年に2回、授業アンケートを実施しています。これは、生徒が自分たちの学習状況を振り返ると同時に、先生方の授業についても採点するということです。説明のわかりやすさや熱意・公平性まで、さまざまな質問項目が用意されており、外部の専門業者による客観的なデータが担当教員に戻されます。その後、先生方は結果分析会にも参加して、常に各自の授業力の向上・改善を心がけています。

授業アンケート

「満点」をめざしてがんばる先生の通知表



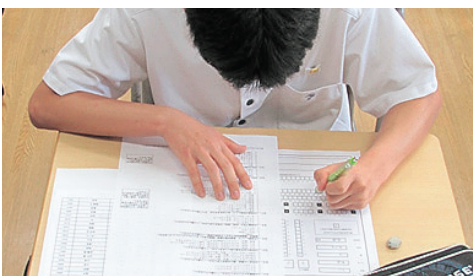
私にはたくさんさんの夢があります。その一つは、世界中の人々が幸せになることです。（中略）私に何ができるのか。そんなことを考えていると本を書きたいという夢に行きつきました。（著書より抜粋）

伝えたかったことは、主体的に学習することの大切さ。この本を読むことで、より人生を幸せにするためには「どのよう」に「学んでいけばよいか」を考えるきっかけになれば...と願っています。（桑野先生談）

本校の教員が本を出版しました！

考えるきっかけに

「君に足りないのは「学力」ではなく「学習力」です！」



KTN、KTGで自学力を育む。



生徒一人ひとりのやる気と積極性を引き出す。

独自の学習プログラム

だれの心にも存在する
K点を超越する!



K点とは、スキージャンプ競技などで知られる極限点のことですが、実際はこれを超えなければ勝つことは難しいといわれています。実は、私たちの心にも目には見えないK点が存在します。何かをはじめの前から自分の限界ラインを決めて、こ

れ以上はできないと思いきんでしまおう。

付属中学ではそのような心の積極性を「K点」として、それを突破するよう指導を行っています。

「K点突破」を合言葉に、生徒のやる気、積極性を最大限に引き出していきます。

まずはKTNで家庭学習を定着させる!



唯一の方法は「継続」にあります。そのために欠かさないのが、家庭学習の定着です。付属中学では、自分の学習レベルに合わせて目標を設定したK点突破ノート、KTNを使って、日々の家庭学習に取り組み、こと「自学力」を鍛えていきます。

仲間とともにKTN、KTGで目標をめざす!



3年生は夏休みの課外期間中、午後から3時間、希望者を対象にKTGという学習会を行っています。来るべき高校入試の合格に向けて各自で学習内容を設定し、自学に励みます。

生徒は夏休み前に行われた校長面接をきっかけに、この夏の目標をしっかりと定めているので、何をやるべきか具体的にわかっていきます。ほどよい緊張感と静寂に包まれた環境のなか、自分の弱点を克服するために、得意分野をもつ



と伸ばすために、仲間とともに本気で勉強に取り組めます。

暑く、長い夏休みの学習には誘惑が付きものです。しかし、志を同じくする仲間と一緒に取り組むことによって、一人では乗り越えられない壁を乗り越えていくことができます。

わからないことはその場で先生に質問できる!



集中して学習に取り組めるだけでなく、わからないことをいつでも先生方に質問することができます。KTNに参加するメリットのひとつです。先生方も、質問に来る生徒

がわかるまでとことん教える覚悟で、いつも職員室にスタンバイしています。ふだんから生徒たちと接している先生方だからこそ、生徒一人ひとりで異なる



る勉強の悩みや相談に親身になって応えてくれます。「受験生の夏を、有意義なものに」という思いを込めて始まったKTG。このKTGを積極的に活用して、学力を大きく伸ばしていく生徒も少なくありません。



合言葉は「K点突破」!

Topix



命をつなぐ、人と人をつなぐ AED講習会

付属中学生としての心を先輩から後輩へ伝える取り組みとして、すっかり恒例となったAED講習会も今年で8回目。1年生全員の手形が入ったサブタイトルを準備し、5月7日(土)に実施。改めて命の大切さを実感する講習会となりました。



北九ウォーク ぐるっと洞海湾～昔と今～

洞海湾1周の約20kmを2年生は歴史や環境について感じながら歩きました。洞海湾は、北九州の工業発展のために重要な役割を果たした一方で、環境問題も抱えた場所でもありました。人々の努力で環境問題を克服し、生物が住めるようになった現在の洞海湾の様子も感じる事ができたのではないかと思います。また、班員同士で励まし合ったりする中で、絆を強く、完歩する事ができました。

2年生の古都探訪教室。今年も1月31日(日)から2泊3日で奈良・京都へ行きました。奈良では法隆寺・薬師寺・東大寺を訪れ、京都では事前に自分たちで下調べをしたところを巡り、班別研修を行いました。研修中は1日の出来事をまとめ、また印象的だったことを短歌にしたためるという課題に取り組みました。

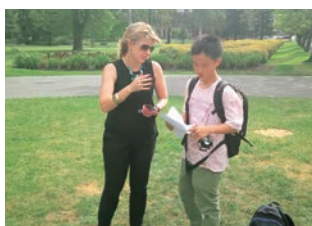
Close-up class

古都探訪教室 渾身の百人一首

して発表しました。生徒と担任・副任の先生と、お世話になった添乗員さんにも協力していただき、全部で百人が短歌を詠みました。作者名も本名ではなく、歌人の名を文字につけたので、誰の歌なのかを考えるのも楽しい発表会となりました。ちなみに、添乗員の方のお名前は、何と「浅田真央」さん! 浅田さんの詠んだ一首は、『浅田真央 やつぱりきたか その質問 トリプルアクセル できますかー?』でした。



平成27年10月16日から1週間、3年生は海外体験教室に出かけました。毎年3年生は1週間の海外体験教室に出かけます。まずはメルボルンから車で1時間ほどのカイントンでファームステイを体験。農作業の手伝いをしたり、ピクニックに行ったりして、オーストラリアの大自然を満喫しました。それからメルボルン市内に移動し、ウォークラリーをしました。道行く人に英語で質問しながら、いろいろな場所を訪れました。現地との交流では、体育祭で踊ったソーラン節をパートナーの生徒に英語で教え、最後に全員で踊って大いに盛り上がりました。生徒たちからは「いろんな人たちが話しかけてきた。最初は驚いたけど、会話ができて楽しかった。」「自分の英語には自信はないけれど、堂々と話したら伝わった。伝わりたくて嬉しかった。」「海外留学に興味がある。」「といった多くの前向きな感想が寄せられました。



海外体験教室

DREAM100

2016 作文コンテスト



思い切り振ればよかった。
次は絶対後悔しない。

DREAM100 第7回高校生作文コンテスト

九州・山口の高校生を対象に100文字以内で思いをつづってもらう作文コンテスト「DREAM 100」。

7回目を数える今年のテーマは、「失敗から学んだこと」。

8,162もの力作の中から4賞と入選96点が選ばれ、

8月28日(日)、九国大のキャンパスで表彰式が行われました。



転劇をご一読ください。

今年のテーマは、「失敗から学んだこと」。だれにでも失敗はあります。むしろ成功することよりも失敗することの方が多くかもしれません。しかし、失敗は成功のもと。失敗から学び、成長していった生徒さんたちの作品が、何と過去最高の8、162点も集まりました。

高校生ならではのみずみずしい感性があふれる珠玉の逆

転劇をご一読ください。
100文字と言う枠の中で自分の思いを伝えるのは容易ではありません。単にムダを削るだけでなく、本当に伝えたいことを追求するためには徹底的に自分と向き合う必要があります。しかし、この過程こそがコンテストの狙い。高校生と言う多感な時期にそういう時間を持つことは、将来の夢や目標を見つけるための最適なトレーニングにもなります。

55の高校から8、162点と過去最高数の作品が集まり、白熱した審査となりました。

開学80年を記念して2010年にスタートした「DREAM100」高校生作文コンテスト。今年で7回目を迎え、今ではすっかり夏休み前の恒例行事となっており、文章の要約や表現力を磨くために多くの高校で学校を挙げて取り組んでいたでいます。

たくさんの失敗も、一つひとつが逆転劇。

応募したみなさんの数だけ寄せられた、さまざまな失敗談。思えば人間はなんとたくさんの失敗をしながら生きているのでしょうか。私たちは人間だから、ロボットや機械ではないから、ミスをしてしまう。そして失敗と反省をくり返しながら生きているのです。すると、8,162篇の作品の一つひとつが、貴重な逆転劇の足跡のように思われてきます。

大賞に選ばれたルーテル学院高校の岡崎 晃大さんの作品は海で溺れた話です。沖が見たくて飛

び込んだという、勇敢かつ危険極まりない行為を論じた父とそれを受け止めた子。ひと夏の出来事はいつまでも記憶に残ることでしょう。

祖父の死に目に遭えなかった須恵高校の大鶴 比路さん、辛い日記を書いた長崎明誠高校の日向碧さん、兄弟げんかや壊れた心を書いた小倉高校の中島 香子さんの作品にも忘れがたい共感を覚ええました。

選考委員長

村田 喜代子氏



DREAM 100

第7回高校生作文コンテスト

九州・山口の高校生を対象に募集している作文コンテスト。名前の「100」には、開学100周年に向け、たゆまずに歩き続けようという決意と、高校生の夢が「満点」の花になるようにという願いが込められています。九州国際大学は今後も限らない可能性を持つ若者の声に耳を傾け、夢の実現をサポートしていきます。

■主催／九州国際大学

■共催／読売新聞西部本社

■後援／北九州市、FBS福岡放送

■選考委員長

芥川賞作家
九州国際大学客員教授

村田 喜代子氏

■選考委員

九州国際大学学長

堀田 泰司

北九州商工会議所 専務理事

羽田野 隆士氏

FBS福岡放送アナウンサー

浜崎 正樹氏

読売新聞西部本社 編集委員
九州国際大学客員教授

時枝 正信氏

最優秀学校賞

福岡県／小倉南高等学校

優秀学校賞

福岡県／九州国際大学付属高等学校

鹿児島県／樟南高等学校

学校賞

【山口県】宇部フロンティア大学付属香川高等学校、田部高等学校、野田学園高等学校、柳井学園高等学校、山口県桜ヶ丘高等学校

【福岡県】ありあけ新世高等学校、糸島高等学校、冲学園高等学校、折尾愛真高等学校、北九州高等学校、希望が丘高等学校、

仰星学園高等学校、古賀寛成館高等学校、小倉工業高等学校、小倉東高等学校、純真高等学校、真鶴館高等学校、須恵高等学校、

西南女学院高等学校、青豊高等学校、

つくば開成福岡高等学校、博多高等学校、

福岡魁誠高等学校、福岡海星女子学院高等学校、

北筑高等学校、八幡中央高等学校

【佐賀県】太良高等学校、東明館高等学校

【大分県】佐伯豊南高等学校、東九州龍谷高等学校、

別府商業高等学校

【熊本県】大津高等学校、熊本学園大学付属高等学校、

高森高等学校、千原台高等学校、

ルーテル学院高等学校

【長崎県】創成館高等学校、長崎明誠高等学校

【宮崎県】聖心ウルスラ学園聡明中学校高等部、

都城聖ドミニコ学園高等学校

【鹿児島県】鹿児島実業高等学校、鹿屋工業高等学校、錦江湾高等学校

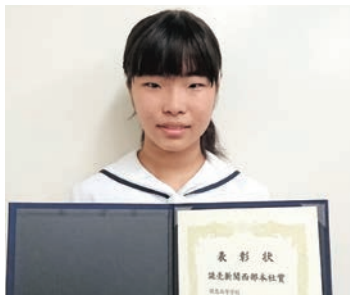
全入選者はホームページに掲載中！

読売新聞西部本社賞

大鶴 比路さん

(福岡県／須恵高等学校2年)

大	好	き	だ	っ	た	お	じ	い	ち	ゃ	ん	が	痛	で
死	ん	だ	日	の	朝	、	私	は	お	じ	い	ち	ゃ	ん
の	顔	を	見	る	こ	と	も	せ	ず	に	家	を	出	た
。	そ	れ	以	来	、	家	を	出	る	と	き	は	必	ず
家	族	の	顔	を	見	て	「	い	っ	て	き	ま	す	」
と	言	う	よ	う	に	し	て	い	る	。	も	う	後	悔
を	し	な	い	た	め	に	。							



祖父が亡くなったのは私がまだ幼い時のことで、その頃は「死」というものをよく理解していませんでした。しかし、祖父の最後の顔を見ることができなかったことは、今でも後悔しています。一人でも私のような思いをする人がいなくなればいいな、と願いながら書きました。

DREAM大賞

岡崎 晃大さん

(熊本県／ルーテル学院高等学校3年)

小	さ	い	頃	私	は	溺	れ	た	。	海	の	先	を	見
た	か	っ	た	。	父	に	は	怒	ら	れ	た	が	勇	気
は	讀	え	ら	れ	た	。	あ	る	哲	学	者	が	無	謀
と	臆	病	の	中	庸	と	言	っ	て	い	た	よ	う	に
時	に	は	大	き	な	挑	戦	も	必	要	で	あ	り	、
そ	の	中	で	は	失	敗	さ	え	も	栄	光	と	な	る
と	父	か	ら	学	ん	だ	。							



幼い頃の夏の日の思い出について書きました。その時の父とのやりとりや状況、空気感を100文字にまとめるのは難しく、何度も推敲を重ねました。あの日、父から教わったことは将来、困難や壁にぶつかった時にも、きっと一歩先に踏み出す力を与えてくれると思っています。

選考委員会特別賞

中島 香子さん

(福岡県／小倉高等学校2年)

弟	の	言	動	が	気	に	く	わ	ず	、	大	声	を	あ
げ	て	怒	鳴	っ	た	私	。	弟	と	の	激	し	い	口
論	の	末	、	弟	は	私	の	携	帯	電	話	を	壊	し
た	。	だ	け	ど	、	本	当	に	壊	れ	そ	う	に	な
っ	た	の	は	、	私	と	弟	の	心	。	携	帯	電	話
は	壊	れ	た	け	れ	ど	、	守	る	べ	き	も	の	を
教	え	て	く	れ	た	ん	だ	。						



毎日のようにケンカをする2人ですが、私は弟のことが大好きです。しかし、あの日、私たち姉弟は本当に壊れそうになりました。このことを決して忘れず、これからの教訓にするために応募しました。まさか自分の作品が選ばれると思っていたなかったので、とても嬉しかったです。

FBS福岡放送賞

日向 碧さん

(長崎明誠高等学校3年)

日	記	を	書	こ	う	。	そ	う	決	め	た	。	辛	い
出	来	事	し	か	書	け	な	く	て	、	読	み	返	す
の	も	辛	か	っ	た	。	今	度	は	良	い	出	来	事
だ	け	を	書	こ	う	。	そ	う	決	め	た	。	読	み
返	す	と	幸	せ	は	毎	日	溢	れ	か	え	っ	て	い
る	こ	と	に	気	づ	い	た	。	単	純	だ	な	私	。



今日一日がどんな日だったか。それは自分の捉え方次第で良くも悪くもなる。視点を変えれば毎日は、些細な幸せや気持ちが明るくなることがいっぱい詰まっている…。そんな思いを伝えたくて書きました。今回、受賞したことを日記に記し、また新たな幸せのページが増えました。

九国大 ドリーム100

検索



「日韓シンポジウム」通じて 本学が目指す地域国際化への 取り組みを紹介

「北九州から考えるこれからの日韓関係」と題する第2回日韓シンポジウムが、7月27日(水)、本学KIUホールで開催されました。松井貞夫・前釜山総領事の基調講演に続き、第二部では交換留学生として昨年1年間、韓国の協定校に交換留学していた川浪未来さんと田中咲良さん、本学で学ぶ韓国人留学生のキムナヨンさんとキムユジンさんの4名が、それぞれに日韓交流への思いを発表しました。

当日集計したアンケートには、「お互いを深く理解するためには、信頼すること、同じ目線に立つことが重要である」、「若い人たちの意見や考えを聞くことができて良かった」、「体験を通じて学ぶことの重要性を改めて実感できた」、「楽しく良い部分を先行させて交流を深め、課題解決の方向性を示すことを期待する」、「たいへん素晴らしい講演・シンポジウムだった」など、貴重な意見が多数寄せられました。

今回のシンポジウムは、森脇ゼミ(ハングルコース)全員で企画・演出し、北九州市、北九州国際交流協会、アジア成長研究所、九州国際大学同窓会等からご後援いただきました。



車椅子の新郎のための婚礼企画 「タキシーマ・ウエディング」

福島ゼミでは、下肢障がい者の男性の婚礼件数が少ないことに着目し、車いすの新郎のための婚礼企画「タキシーマ・ウエディング」を展開しています。障がい者でも楽に着脱ができ、長時間着用しても圧迫感が少ない婚礼衣装「タキシーマ」は、福岡の服飾専門学校生と共同開発したもので実用新案も取得しています。

また、お色直し衣装「リバシーマ」は、あらかじめ「タキシーマ」の下に着ておけるため「着替えに時間がかかる」といった課題も解消します。さらに、新郎新婦が目線の高さを合わせてバージンロードを歩き、新婦を屈ませずにベールアップしてほしいという願いから座面が80cmまで上がる昇降式電動車いす「タキシーマ・ペガサス」を製作。

多額の製作資金は、日本最大級のクラウドファンディング会社Ready for(東京)を通じて調達しました。ゼミ生が集めた資金は目標額188万円に対し218万7000円。本気で取り組む福島ゼミは、障がい者の婚礼市場にイノベーションをおこします。



経済学部生と山崎製パン(株)が「ランチパック」を共同開発！

宇都宮ゼミ、三輪ゼミ、木下ゼミ(いずれも経済学部)の1年生から4年生、約30名の学生と山崎製パン株式会社が共同開発した「ランチパック(メンチカツと若松潮風キャベツ入りカレー)」が、4月1日(金)から期間限定で九州全域と下関市および東京のランチパック専門店販売されました。

10月の第1回会議ではランチパックの歴史や商品開発上の規制等の説明を山崎製パンの山岡様から受け、学生ごとに商品開発シートを作成

していきました。売価や食シーン、ターゲット層をはじめ、具材などの製品説明や製品のこだわりなど複数の項目を「ストーリーを与えて」シートを完成させる作業は、学生たちにとって刺激に満ちたものであったようです。また、ランチパックのオリジナルキャラクター「ランチちゃんとパックくん」の九国大版へのイラストデザインも学生が担当しました。

今回の企画の経験を通して、学生たちはまた一歩、大きく成長したように思われます。



High School

ユニークな教育や
トピックスをお届けします。



55年ぶり！夏の甲子園福岡大会3連覇

野球部は第98回全国高校野球選手権大会福岡大会で優勝し、3年連続の甲子園出場を果たしました。これは41～43回大会の戸畑高校以来55年ぶりの快挙となります。

今年のチームは決して前評判が高かったわけではありません。昨秋の九州大会予選では5回戦で東筑高校に敗戦、春季九州大会予選でも自由ヶ丘高校に5回戦敗退、さらに北九州市長杯では星琳高校に初戦敗退と、公式戦では結果が出せませんでした。

このようなチームが甲子園出場を成し遂げたのは、チーム内の競争が激しかったからだと思います。今一番状態のいい選手をレギュラーで使うという楠城監督の方針から、頻りにメンバーの入れ替えが行われました。このことが部内に刺激を与え、競い合う雰囲気チームに浸透していきました。

甲子園では初日の第3試合となり、対戦相手の盛岡大附高校とは一進一退の打撃戦に。しかし、あと一本が出ず敗れてしまいました。試合後、涙を流す選手もいましたが、多くの市民の方々からもお褒めの言葉をいただき、まさに力を出し切った好ゲームだったと思います。

甲子園出場に際しましては学園内の教職員をはじめ、保護者のみならず、地域のみならずのご支援のおかげで、選手たちは存分に野球に集中することができました。心より感謝申し上げます。

九国から7人目のオリンピック選手！バドミントン混合ダブルス、リオ五輪でベスト8に！

過去最高数のメダルを獲得し、リオデジャネイロオリンピックが感動とともに幕を閉じました。バドミントン混合ダブルスの代表選手として出場した栗原文音選手は、付属高校の卒業生。リオへの出発が間近に迫った7月4日、本校にて壮行会が開かれ、栗原選手は全校生徒2,000人の前でリオオリンピックへの思いを熱く語り、健闘を誓いました。本番では予選で惜しくも韓国ペアに1敗したものの、オランダペアとアメリカペアに勝利して見事予選リーグを突破し、期待通りベスト8入りを果たしました。

高校在学中は3年間レギュラーとして、シングルの大会で輝かしい戦績を残し、3年次には主将としてチームをまとめ、引っ張ってくれた栗原選手。卒業後は実業団チームの名門である日本ユニシスに入社しましたが、ケガが原因でやむなくダブルスに転向しました。しかし、その後、国際大会を転戦しながら力をつけ、2016年5月、熾烈なオリンピックレースを勝ち抜き、代表選手の栄冠を勝ち取りました。

どんな状況に置かれても、決してあきらめることなく夢を追いつづける栗原選手の姿勢は、今も後輩たちの大きな目標となっています。



Junior High School



入学して最初の宿泊行事。 3日間で、大きな成長を実感！自然体験教室

7月6日(水)～8日(金)の3日間、福岡県立英彦山青年の家で自然体験教室が行われました。晴天に恵まれた1日目は野外でカレーづくりに挑戦！火を起こしたり、野菜を切ったりするのに苦戦する班もありましたが、炊飯場は楽しそうな笑い声に包まれていました。

2日目は英彦山登山。午後から大雨の予報だったので時間短縮のため、各班の間をなるべく空けないよう、励まし合いながら登りました。ハードなルートでしたが、苦労した分、山頂に着いたときの達成感は格別でした。

そして3日目は、集団行動のクラス発表会。初日の練習時には本気度が足りない！と先生方から気合いを入れられることもありましたが、心地よい緊張感のなかで全員が真剣に取り組むことができ、各クラスの個性がよく表現された発表会となりました。

他にもレクレーションを楽しんだり、家族への感謝の手紙をしたためたり、さまざまな活動を通して自主性や積極性、協調性を身につけると同時に、礼儀や思いやりの大切さを学び、仲間との絆を深めることができました。



University

平成28年度サークル活動 主要な成績

◎硬式野球部

九州六大学春季リーグ **優勝**
第65回全日本大学野球選手権記念大会出場



◎ウエイトリフティング部

第13回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会
56kg級 井出真輝 **準優勝**
62kg級 平井隼人 **優勝**
77kg級 本田大智 **準優勝**
94kg級 矢葺士 **優勝**
太田悠斗 **準優勝**
105kg級 岩崎貴之 **準優勝**
+105kg級 瀬野郁希 **準優勝**
第62回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
56kg級 井出真輝 **優勝**
94kg級 太田悠斗 **優勝**
105kg級 矢葺士 **優勝**
+105kg級 丸本大翔 **準優勝**
第28回全日本女子学生ウエイトリフティング個人選手権大会
48kg級 足立咲輝 **優勝**
53kg級 浅野瑞季 **準優勝**



◎サッカー部

第40回九州大学サッカートーナメント大会 4位
第40回総理大臣杯
全日本大学サッカートーナメント大会出場



◎バドミントン部

第65回九州学生バドミントン選手権大会 団体 **3位**
個人男子シングルス **優勝** 尾崎公哉
個人男子ダブルス **優勝** 尾崎公哉・濱崎駿
個人女子シングルス **優勝** 中村麻裕
個人女子ダブルス **優勝** 中村麻裕・中野愛美
第56回九州学生バドミントンリーグ戦大会
男子団体1部 **優勝**



◎柔道部

第64回九州学生柔道優勝大会 2部 **優勝**
男子65回全日本学生柔道優勝大会 団体出場

◎陸上競技部／トライアスロン

2016世界大学トライアスロン選手権ニヨン大会出場
(日本代表／開催国スイス) 蒔田亜伽音

High School

◎バドミントン部

全九州高等学校バドミントン競技大会
6/17～6/20 鹿児島アリーナ
団体戦男子 ベスト8 女子 ベスト4
シングルス男子1回戦 鳥本嵩人
シングルス女子 **優勝** 松山奈未
準優勝 小西春七 ベスト4 平野紗紀
ダブルス男子ベスト8 鳥本嵩人・八色駿
ダブルス女子 **優勝** 松山奈未・縄田佳子
準優勝 平野紗紀・小西春七
ベスト8 宮原美樹・川床菜華
全国高校総体(千葉) 8/7～8/12 ジップアリーナ岡山
団体戦男子 1回戦 女子 **準優勝**
シングルス女子1回戦 松山奈未
ダブルス男子1回戦 鳥本嵩人・八色駿
ダブルス女子ベスト4 松山奈未・縄田佳子
ベスト32 平野紗紀・小西春七
全国私立高等学校選抜バドミントン大会 神奈川県
男子 17位 女子 5位



◎ウエイトリフティング部

全九州高等学校体育大会ウエイトリフティング競技大会
6/17～6/19 沖縄県立糸満高等学校
62kg級 山本雄大 11位
69kg級 藤井尚輝 13位
77kg級 佐野大河 7位
85kg級 岡村妃加 3位
69kg級 戸田妃乃子 1位
全国高校女子ウエイトリフティング選手権大会
7/16～7/18 九州国際大学
69kg級 戸田妃乃子 1位
全国高校総体全国高等学校ウエイトリフティング
競技選手権大会 8/4～8/7 岡山県笠岡市総合体育館
62kg級 山本雄大 44位
77kg級 佐野大河 24位
85kg級 岡村妃加 30位



◎バレーボール部

第15回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権
8/5～8/8 大阪府大阪市箱崎海水浴場 ベスト16

◎陸上部

全国高校総体北九州地区予選
6/16～19 佐賀総合運動公園
三段跳び **3位** 矢野裕樹(インターハイ出場)
100mH **3位** 藤原美咲(インターハイ出場)
4×100mR 4位 小野原・塩月・藤原・原田・光澤
(インターハイ出場)

◎野球部

第98回全国高校野球選手権大会 出場(詳細は11p)

◎体操部

全国高等学校総合体育大会体操競技
全国高等学校体操競技選手権大会
2の13 西原智香
成績: 跳馬12.80 段違い平行棒11.25 平均台11.55
ゆか12.15 合計47.75 78/254位
全九州高等学校体育大会
第68回全九州高等学校体操競技大会
個人総合 2の13 山本遥輝 19位
3の14 上野秀真 23位
1の14 井上歩夢 42位
個人総合
2の13 西原智香 **3位**
種目別
平均台 西原智香 **2位**



Junior High School

女子バドミントン部全国大会出場!!

日頃から、“全国優勝”を目標に汗を流してきました。市内大会、県大会共に優勝し、九州大会でも優勝という好成績を収め、8月17日から石川県で行われた全国大会に臨みました。団体戦、個人戦ダブルスで出場し、全国という舞台で、選手は緊張と闘いながらも全力でプレーしましたが、残念ながら目標としていた“全国優勝”を勝ち取ることはできませんでした。大会では出場する選手だけでなく、部員はサポートや応援にチーム一丸となり頑張りました。来年はこの悔しさをバネに精神面、体力面とさらに鍛え上げ、悲願の“全国優勝”を勝ち取ってくれることでしょう。

<第45回 九州中学校バドミントン大会>
8月8日～10日

男子団体 ベスト8

山口宗真(3年)、吉松基(3年)、濱原和騎(2年)、
明神光太郎(2年)、水口稜太郎(1年)

男子シングルス ベスト16

吉松基(3年)



女子団体 優勝

田島珠姫(2年)、中村麻誉(3年)、赤嶺きらり(2年)、
川島菜々(2年)、本田彩香(2年)、八色舞(2年)、
川床美都希(1年)

女子シングルス ベスト16

赤嶺きらり(2年)

女子ダブルス 優勝

田島珠姫(3年)・中村麻誉(3年)
ベスト8
川島菜々(2年)・八色舞(2年)



<第46回 全国中学校バドミントン大会>
8月17～20日

女子団体

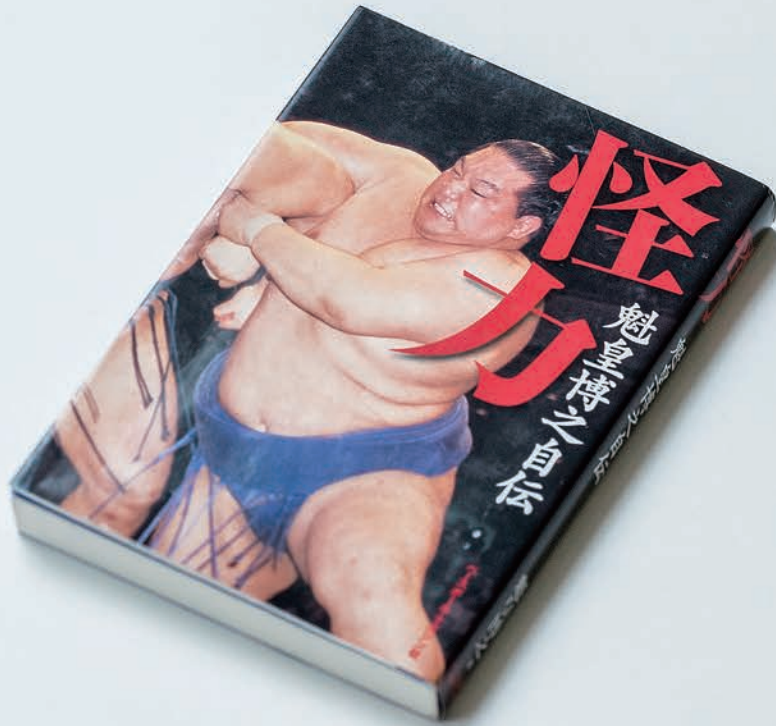
田島珠姫(3年)、中村麻誉(3年)、赤嶺きらり(2年)、
川島菜々(2年)、本田彩香(2年)、八色舞(2年)、
川床美都希(1年)

女子ダブルス

田島珠姫(3年)、中村麻誉(3年)



本や音楽、恩師など、先生の人生の転機となった出会いを教えてくださいました。



怪力 魁皇博之自伝

ベースボールマガジン社

人生の土俵際を支えてくれたメンタルに効くクスリのような一冊。

27歳の時に大病を患いました。幼い頃から病気とは無縁で、学生時代にはソフトボールや登山に親しむほど体力に自信があった私にとって、それはまさに青天の霹靂でした。大学院で研究に取り組んでおり、学究の途に進むという希望に胸ふくらませていたのに病状は思ったよりも重く、闘病生活を余儀なくされることに。いつ回復するかわからない不安と将来への夢を断たれ、絶望的な思いのなかで手に取ったのが、元大関 魁皇が現役時代に出版した自伝「怪力」です。一度既読していた本でしたが、読み返してみると度重なるケガと綱取りのプレッシャーに負けることなく、恬淡と角界に残る記録を打ち立てていった魁皇の偉大さに改めて感動しました。満身創痍となり幾度となく引退を囁かれながらも、土俵際に踏みとどまり続けたその姿勢から、「たった1度の病気でへこたれてどうする！必ず治して再チャレンジしよう！」。大きな勇気をもたらすことができました。

その後、病状は快方に向かい、九大の研究員を経て、今年から九州大で教鞭をとっていますが、今でも問題が山積したり、壁にぶつかったりした時にページを開くのが、この本。いつでも手に取れるよう、研究室と自宅に一冊ずつ常備しています。私にとってはメンタルに効くクスリのような存在の一冊です。



九州国際大学特任助教

田鹿 紘

専門は公共経済学。研究テーマは少子高齢社会における年金・医療・経済成長の理論的研究。経済学科では、経済学、社会保障論、経済数学入門を担当。

寄付金のお願い

現在、九州国際大学では、中学校から大学院まで学園全体の「教育研究用施設設備の拡充」と「教育環境整備」を目的に寄付金の募集を行っております。具体的には、校舎の耐震工事や空調機器の更新、グラウンド等校地の整備、教育情報システムの更新・整備などに順次充当していく予定です。平成28年8月末現在、総額24,882,575円のご浄財を頂戴いたしておりますが、より安定した財政基盤確立のためには、皆様方の更なるご支援が必要となります。

つきましては、寄付金の趣旨にご賛同いただき、皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(寄付金目標額1億円、平成30年3月まで)なお、寄付金募集に関する問い合わせや手続確認、用紙請求等につきましては、下記の部署までご連絡ください。

連絡先

〒805-8512 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号 学校法人九州国際大学 法人事務局寄付金担当
TEL093-671-9034 FAX093-671-9032 E-mail kifu@kiu.ac.jp
本学HPの寄付金情報 <http://www.kiu.ac.jp/kifu/>

学校法人 九州国際大学 平成27年度 決算状況

平成25年4月22日に文部科学省令第15号「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました（平成27年度決算より適用）。このうち、当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「①教育活動収支」、「②教育活動外収支」及び臨時的な収支となる「③特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするとともに、当該年度の基本金組入額を控除した収支の均衡を明らかにするものです。

新会計基準に基づく平成27年度事業活動収支決算（旧会計基準の消費収支決算）は、基本金組入前当年度収支差額（旧会計基準の帰属収支差額）が1億1,594万円の支出超過となりました。また、当年度収支差額（旧会計基準の消費収支差額）は、6億7,496万円の支出超過となっております。

「①教育活動収支」における収入は35億2,462万円、支出は37億1,540万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、1億9,078万円の支出超過となっております。

「②教育活動外収支」における収入は1,576万円、支出は919万円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、658万円の収入超過となっております。

「③特別収支」における収入は7,374万円、支出は547万円となり、当該区分における特別収支差額は6,827万円の収入超過となっております。

これらを総じた事業活動収入は36億1,412万円、事業活動支出は37億3,006万円です。

なお、平成28年3月末現在の運転資金（現金預金及び有価証券）は、27億8,999万円で、前年度末より1,014万円減少しました。「退職給与引当特定資産」は、9億5,558万円で、学校法人会計基準に基づき、当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は、14億1,420万円となり、有価証券売却益を含み、前年度末より3,148万円増加しました。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して1,717万円増加しております。

※ 単位万円以下は四捨五入して表記

事業活動収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (単位: 千円)

科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	2,322,905	2,323,418
手数料	72,039	72,860	△ 821
寄付金	0	0	0
経常費等補助金	876,358	876,486	△ 128
付随事業収入	58,675	58,503	172
雑収入	192,899	193,348	△ 449
教育活動収入計	3,522,876	3,524,615	△ 1,739
科目	予算	決算	差異
人件費	2,258,734	2,258,650	84
教育研究経費	1,163,535	1,116,463	47,072
管理経費	355,339	340,285	15,054
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	3,777,608	3,715,398	62,210
教育活動収支差額	△ 254,732	△ 190,783	△ 63,949
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	15,200	15,763	△ 563
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	15,200	15,763	△ 563
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	8,893	8,892	1
徴収不能額等	0	294	△ 294
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	8,893	9,186	△ 293
教育活動外収支差額	6,307	6,577	△ 270
經常収支差額	△ 248,425	△ 184,206	△ 64,219
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	31,410	31,410	0
その他の特別収入	29,716	42,332	△ 12,616
特別収入計	61,126	73,742	△ 12,616
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	0	5,474	△ 5,474
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	5,474	△ 5,474
特別収支差額	61,126	68,268	△ 7,142
[予備費]	10,000		10,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 197,299	△ 115,938	△ 81,361
基本金組入額合計	△ 258,628	△ 559,025	300,397
当年度収支差額	△ 455,927	△ 674,963	219,036
前年度繰越収支差額	△ 5,479,358	△ 5,479,358	0
基本金取崩額	0	611,714	△ 611,714
翌年度繰越収支差額	△ 5,935,285	△ 5,542,607	△ 392,678
(参考)			
事業活動収入計	3,599,202	3,614,121	△ 14,919
事業活動支出計	3,796,501	3,730,059	66,442

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出にはなりません。

【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】

得べき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得べき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

【減価償却額】

固定資産の価値は年々減少します。その減少分を取得原価から毎年経費として事業活動支出に配分することをいいます。学校法人会計では定額法を用いて減価償却を行うことになっています。土地と図書については減価償却をしません。なお、これらは現金の支出を伴いません。

【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっております。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。

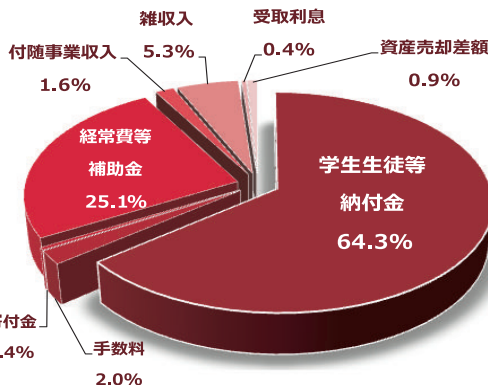
【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。

【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。

【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

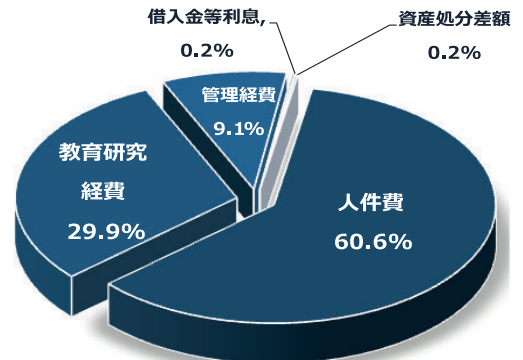
事業活動収入に対する各費目の占める割合

事業活動収入計 (3,614百万円)



事業活動支出に対する各費目の占める割合

事業活動支出 (3,730百万円)



活動区分資金収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
教育活動による資金収支	
収入	
学生生徒等納付金収入	2,323,418
手数料収入	72,860
経常費等補助金収入	876,486
付随事業収入	58,503
雑収入	193,348
教育活動資金収入計	3,524,615
支出	
人件費支出	2,262,831
教育研究経費支出	833,200
管理経費支出	304,894
教育活動資金支出計	3,400,925
差引	123,690
調整勘定等	△ 7,504
教育活動資金収支差額	116,186
施設整備等活動による資金収支	
収入	
施設設備寄付金収入	8,997
施設設備補助金収入	29,186
減価償却引当特定資産取崩収入	450,000
施設整備等活動資金収入計	488,183
支出	
施設関係支出	134,139
設備関係支出	23,573
減価償却引当特定資産繰入支出	450,074
施設整備等活動資金支出計	607,786
差引	△ 119,603
調整勘定等	80,445
施設整備等活動資金収支差額	△ 39,158
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	77,028
その他の活動による資金収支	
収入	
退職給与引当特定資産取崩収入	204,212
短期貸付金回収収入	308
預り金受入収入	9,981
修学・研修旅行費預り金受入収入	368
小計	214,869
支出	
受取利息・配当金収入	15,764
その他の活動資金収入計	230,633
借入金等返済支出	105,540
有価証券購入支出	100,000
退職給与引当特定資産繰入支出	200,032
修学・研修旅行費預り資産繰入支出	583
仮払金支払支出	1,624
小計	407,779
借入金等利息支出	8,893
その他の活動資金支出計	416,672
差引	△ 186,039
調整勘定等	△ 1,125
その他の活動資金収支差額	△ 187,164
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	△ 110,136
前年度繰越支払資金	2,700,129
翌年度繰越支払資金	2,589,993

資金収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,322,905	2,323,418	△ 513
手数料収入	72,039	72,860	△ 821
寄付金収入	8,000	8,997	△ 997
補助金収入	898,074	905,672	△ 7,598
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	58,675	58,503	172
受取利息・配当金収入	15,200	15,764	△ 564
雑収入	192,899	193,348	△ 449
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	360,650	403,179	△ 42,529
その他の収入	775,700	834,909	△ 59,209
資金収入調整勘定	△ 497,788	△ 511,769	13,981
前年度繰越支払資金	2,700,129	2,700,129	0
収入の部合計	6,906,483	7,005,010	△ 98,527
支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,262,914	2,262,831	83
教育研究経費支出	880,371	833,200	47,171
管理経費支出	319,822	304,895	14,927
借入金等利息支出	8,893	8,892	1
借入金等返済支出	105,540	105,540	0
施設関係支出	134,146	134,140	6
設備関係支出	25,442	23,573	1,869
資産運用支出	700,000	750,688	△ 50,688
その他の支出	37,850	40,236	△ 2,386
	(7,279)		
[予備費]	2,721		2,721
資金支出調整勘定	△ 53,465	△ 48,978	△ 4,487
次年度繰越支払資金	2,482,249	2,589,993	△ 107,744
支出の部合計	6,906,483	7,005,010	△ 98,527

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。

【語句説明】資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます(新入生の入学金・授業料等)。

【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】資金収支及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含みます。

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより、「学校法人会計基準」という会計ルールに則った会計処理および計算書類の作成をし、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

平成25年4月22日に文部科学省令第15号にて、新たな「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました(平成27年度決算より適用)。当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするものです。

計算書類について

(1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動ごとの資金の流れを明らかにし、経営判断に資する財務情報を提供するものです。活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度(様式)ではないため、予算書の作成は求められていません。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、本業である教育・研究活動(教育活動)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

(3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

	資産の部			負債の部				
	科目	H27	H26	増減	科目	H27	H26	増減
校舎・寮・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。	固定資産	17,061,953	17,097,220	△ 35,267	固定負債	1,729,977	1,840,476	△ 110,499
教育研究のために使用される機械設備の額。	●有形固定資産	14,439,208	14,601,335	△ 162,127	●長期借入金	774,390	879,930	△ 105,540
教育研究目的以外の機械設備の額。	●土地	5,270,389	4,912,722	357,667	●退職給与引当金	955,587	959,767	△ 4,180
退職金の支払いのため、将来の支出に備えて留保した資金の額。	●建物	6,442,703	6,907,440	△ 464,737	●長期未払金	0	779	△ 779
老朽施設の更新や機器備品の買換え及び拡充を目的として留保した資金の額。	●構築物	504,175	522,626	△ 18,451	流動負債	719,651	649,741	69,910
	●教育研究用機器備品	364,131	409,532	△ 45,401	●短期借入金	105,540	105,540	0
	●管理用機器備品	37,243	43,089	△ 5,846	●短期未払金	47,076	35,169	11,907
	●図書	1,808,853	1,799,367	9,486	●前受金	403,179	355,526	47,653
	●車両	11,714	6,559	5,155	●修学・研修旅行費預り金	70,191	69,822	369
	●特定資産	2,369,785	2,342,482	27,303	●預り金	93,665	83,684	9,981
	●退職給与引当特定資産	955,587	959,767	△ 4,180	負債の部合計	2,449,628	2,490,217	△ 40,589
	●減価償却引当特定資産	1,414,198	1,382,715	31,483	純資産の部			
	●その他の固定資産	252,960	153,403	99,557	科目	H27	H26	増減
	●ソフトエア	0	128	△ 128	●基本金	22,977,677	23,030,366	△ 52,689
	●電話加入権	3,202	3,202	0	●第1号基本金	22,580,677	22,633,366	△ 52,689
	●敷金	14,640	14,690	△ 50	●第4号基本金	397,000	397,000	0
	●有価証券	200,000	100,000	100,000	●繰越収支差額	△ 5,542,607	△ 5,479,358	△ 63,249
	●長期貸付金	303	568	△ 265	●翌年度繰越収支差額	△ 5,542,607	△ 5,479,358	△ 63,249
	●預託金	34,815	34,815	0	純資産の部合計	17,435,070	17,551,008	63,249
	●流動資産	2,822,745	2,944,005	△ 121,260	負債及び純資産の部合計	19,884,698	20,041,225	△ 156,527
	●現金預金	2,589,993	2,700,129	△ 110,136				
	●未収入金	156,590	170,387	△ 13,797				
	●貯蔵品	105	65	40				
	●短期貸付金	686	1,023	△ 337				
	●修学・研修旅行費預り資産	69,972	69,388	584				
	●前払金	3,444	2,682	762				
	●仮払金	1,955	331	1,624				
	資産の部合計	19,884,698	20,041,225	△ 156,527				

- 校舎・寮・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。
- 教育研究のために使用される機械設備の額。
- 教育研究目的以外の機械設備の額。
- 退職金の支払いのため、将来の支出に備えて留保した資金の額。
- 老朽施設の更新や機器備品の買換え及び拡充を目的として留保した資金の額。
- 現金及びすぐに引き出せる預り金の額。
- 決算日(3月31日)における未収額。
- 切手、はがき、図書カード等の在庫。

- 返済期限が1年以上の借入金。
- 当該年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額。
- 返済期限が1年以内の借入金。
- 翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。
- 財産的な基礎を確保する額のこと。本学が安定的かつ永続的に経営していくために必要な額。
- 資産から負債・基本金を差し引いた額。プラスは累積黒字、マイナスは累積赤字を示す。

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【○○○引当特定資産】
施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

【有価証券】
国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的(短期的)な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。

【現金預金】
現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越収支差額」と一致します。

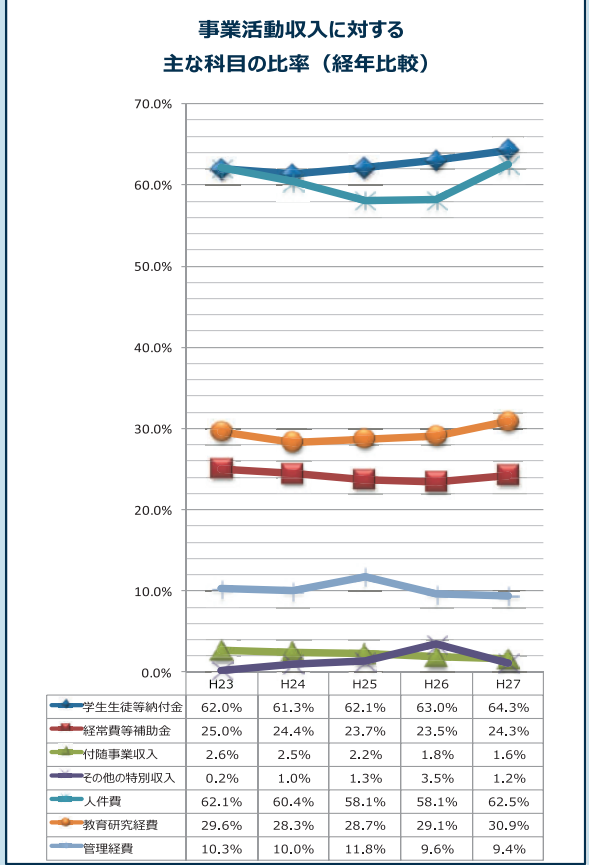
【借入金】
長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。

【預り金】
給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【繰越収支差額】
当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。

事業活動収支計算書(経年比較)

	科目	H23	H24	H25	H26	H27
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,368,974	2,444,772	2,484,090	2,403,123	2,323,418
	手数料	77,847	75,163	72,181	72,384	72,861
	寄付金	0	0	0	0	0
	経常費等補助金	956,959	974,599	948,652	894,604	876,486
	付随事業収入	100,489	98,036	89,709	70,102	58,503
	雑収入	299,655	341,830	293,888	153,127	193,348
	教育活動収入計	3,803,924	3,934,400	3,888,520	3,593,340	3,524,616
教育活動支出	人件費	2,373,506	2,407,249	2,323,553	2,216,725	2,258,650
	教育研究経費	1,132,118	1,129,012	1,147,901	1,110,517	1,116,463
	管理経費	393,180	398,418	471,222	365,943	340,285
	徴収不能額等	0	3,836	0	0	0
教育活動支出計	3,898,804	3,938,515	3,942,676	3,693,185	3,715,398	
教育活動収支差額	△ 94,880	△ 4,115	△ 54,156	△ 99,845	△ 190,782	
教育活動外収入	受取利息・配当金	10,299	12,594	29,224	34,012	15,764
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	10,299	12,594	29,224	34,012	15,764
	借入金等利息	10,663	8,387	9,837	8,577	8,893
教育活動外支出	徴収不能額等	0	0	0	294	294
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	10,663	8,387	9,837	8,871	9,187
教育活動外収支差額	△ 364	4,207	19,387	25,141	6,577	
経常収支差額	△ 95,244	92	△ 34,769	△ 74,704	△ 184,205	
特別収入	資産売却差額	0	0	27,075	52,590	31,410
	その他の特別収入	8,125	40,165	53,856	132,530	42,332
	特別収入計	8,125	40,165	80,931	185,120	73,742
	資産処分差額	31,770	3,916	275,678	5,645	5,474
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出	特別支出計	31,770	3,916	275,678	5,645	5,474
	特別収支差額	△ 23,645	36,249	△ 194,747	179,475	68,268
基本金組入前当年度収支差額	△ 118,889	36,341	△ 229,516	104,771	△ 115,937	
基本金組入額合計	△ 229,263	△ 504,433	△ 66,156	△ 353,504	△ 559,025	
当年度収支差額	△ 348,152	△ 468,092	△ 295,672	△ 248,733	△ 674,962	
前年度繰越収支差額	△ 4,335,817	△ 4,683,828	△ 5,151,172	△ 5,251,818	△ 5,479,359	
基本金取崩額	141	748	195,026	21,193	611,714	
翌年度繰越収支差額	△ 4,683,828	△ 5,151,172	△ 5,251,818	△ 5,479,358	△ 5,542,607	



(参考)
事業活動収入計 3,822,348 3,987,159 3,998,675 3,812,472 3,614,122
事業活動支出計 3,941,237 3,950,818 4,228,191 3,707,701 3,730,059

(注) 平成26年度以前の数値については、旧会計基準を新会計基準に読替えて表示しています。

貸借対照表関係財務比率（旧会計基準）

No.	比率	算式	H23	H24	H25	H26	評価
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	86.7%	87.5%	85.2%	85.3%	▼
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	13.3%	12.5%	14.8%	14.7%	△
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	7.4%	6.9%	9.8%	9.2%	▼
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	3.2%	4.9%	3.2%	3.2%	▼
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	89.4%	88.2%	87.0%	87.6%	△
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△ 23.7%	△ 25.7%	△ 26.2%	△ 27.3%	△
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	97.0%	99.2%	97.8%	97.4%	▼
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$	89.6%	92.0%	88.8%	88.2%	▼
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	413.7%	255.7%	465.8%	453.1%	△
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	10.6%	11.8%	13.0%	12.4%	▼
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	11.9%	13.4%	14.9%	14.2%	▼
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	578.3%	548.1%	683.3%	759.5%	△

消費収支計算書関係財務比率（旧会計基準）

No.	比率	算式	H23	H24	H25	H26	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	62.1%	60.4%	58.1%	58.1%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	100.2%	98.5%	93.5%	92.2%	▼
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	29.6%	28.3%	28.7%	29.1%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.3%	10.0%	11.8%	9.6%	▼
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	▼
6	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	103.1%	99.1%	105.7%	97.3%	▼
7	消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	109.7%	113.4%	107.5%	107.2%	▼
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	62.0%	61.3%	62.1%	63.0%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.2%	0.4%	0.3%	0.6%	△
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	25.0%	25.1%	24.7%	26.4%	△
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	6.0%	12.7%	1.7%	9.3%	△
12	減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	10.9%	11.0%	10.0%	9.8%	—

(注) ① 財務比率の評価は、個々の学校法人に適用する場合に内部事情等を個別に判断しなければ一概にその良否をいえないが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

[△: 高い値が良い ▼: 低い値が良い —: どちらともいえない]

(私学事業回: 今日の私学財政参照)

② 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額
- 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額
- 運用資産 = その他の固定資産 + 流動資産
- 外部資産 = 総負債 - (退職給付引当金 + 前受金)

(注) 学校法人会計基準改正に対応した新たな財務比率等について学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も新基準に対応したものに変更されております。貸借対照表関係比率及び事業活動収支計算書関係比率の名称変更や算出方法の変更に加え、新たに、活動区分資金収支計算書関係比率が設けられました。

企業会計と学校法人会計の違い

企業会計では、会計によって収益と費用を正しくとらえて営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産・負債及び資本の状態を知ることによって、より収益力を高め財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国・地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とすることはできません。したがって、学校法人の会計には、損益の計算という目的はなく、また、一般の企業に比べてより一層の持続性が望まれます。

以上のことから、学校法人会計の目的は、収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、法人の持続的発展に役立てようとすることにあり、その目的を達成するため、計算書類等を作成することになっています。

貸借対照表関係財務比率（新会計基準）

No.	比率	算式	H27	評価
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.8%	▼
2	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	72.6%	▼
3	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	11.9%	△
4	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.2%	△
5	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	6.2%	▼
6	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	2.6%	▼
7	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	72.8%	△
8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	113.6%	△
9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	91.2%	△
10	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	20.0%	△
11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	67.4%	▼
12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	63.1%	▼
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	392.2%	△
14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	12.3%	▼
15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	9.7%	▼
16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	642.4%	△
17	退職給付引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給付引当金}}{\text{退職給付引当特定資産}}$	100.0%	△
18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	96.8%	△
19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額} (\text{図書を除く})}{\text{減価償却資産取得価額} (\text{図書を除く})}$	54.8%	—
20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	52.3%	△

事業活動収支計算書関係比率（新会計基準）

No.	比率	算式	H27	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	63.8%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	97.2%	▼
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.5%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.6%	▼
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.3%	▼
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 3.2%	△
7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動収入} - \text{基本金組入額}}{\text{学生生徒等納付金}}$	122.1%	▼
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	65.6%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.4%	△
9	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.0%	△
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	25.1%	△
10	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	24.8%	△
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	15.5%	△
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	8.6%	—
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△ 5.2%	△
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△ 5.4%	△

(注) 「経常収入」= 教育活動収入計 + 教育活動外収入計
「経常支出」= 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率（新会計基準）

No.	比率	算式	H27	評価
1	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	3.3%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

学校法人九州国際大学

- 大学 法学部 法律学科・経済学部 経済学科・経営学科／国際関係学部 国際関係学科
- 付属高等学校 難関クラス／S特進クラス／特進クラス／準特進クラス／進学クラス／トッパクラス
- 付属中学校
- 大学院 法学研究科・企業政策研究科



University



全員に記念品プレゼント!

オープンキャンパス <事前申込必要>

- ① 平成28年10月10日(月・祝) 14:30~17:00
- ② 平成29年3月4日(土) 14:30~16:00

総合ガイダンス／各学部進路相談／キャンパスツアー
保護者向け説明会／入試説明会／個別相談 など

お申込みは / TEL. 093-671-8916 FAX. 093-671-8995
Email. admission@kiu.ac.jp

盛り上がっていきこう!

大学祭「橋祭」

今年のテーマは「驚天動地」

平成28年11月12日(土)・13日(日)

High School



入試ワンポイントアドバイスも実施!

オープンスクール

平成28年11月5日(土) 10:00~12:30
(12:30以降のプログラムは自由参加)

学校説明&保護者ガイダンス／ステージイベント
入試ワンポイントアドバイス など

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:30から20分毎に運行

お申込みは / TEL. 093-671-8443 FAX. 093-671-9028
Email. 959h@kif.ed.jp

Junior High School



小学6年生および保護者対象

九国プレ2016 学校・入試説明会

平成28年10月23日(日) 9:50~11:50
無料送迎バス / JR枝光駅発 8:50, 9:20

授業を見てみよう!

秋の学校見学ツアー

平成28年11月12日(土) 10:00~12:00

お申込みは / TEL. 093-671-9001 FAX. 093-671-8998
Email. 959j@kif.ed.jp